

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	102	課コード	0105	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	庁舎維持管理	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	総務部・施設管理課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ○全市								
	⑤事業期間	平成31年度 ~			⑥担当職員数	7人 (換算人数 1.1人)							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	190,757千円 (うち人件費 9,570千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	利用見込みのない市有地の売却や、行政財産の使用許可による賃貸料・広告収入の拡充などによって、公有財産の有効活用を進めます。また、公共施設の維持管理については、計画的・効率的に行うとともに、一層の経費の削減に取り組みます。			事業目的	来庁者及び職員が庁舎を安全かつ快適に使用できる庁舎の環境整備を行う。							
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の光熱水費の支払、建物の損害保険、庁舎内設備機器の保守点検管理、庁内の清掃及び警備、電話交換業務、庁舎の維持補修など庁舎全般の維持管理を行う。 来庁者、職員駐車場の確保及び管理。 庁舎維持消耗品（トイレトペーパー、蛍光灯等）購入など。 庁舎等にLED照明などを導入し省エネルギー化を行う。 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費などの支払業務・建物損害保険に関する業務・庁舎内設備機器の保守管理業務・庁舎清掃及び警備に関する業務・庁舎の維持補修全般に関する業務を継続して進める。 非常用発電機を稼働させるために必要なバッテリーが更新時期となるため修繕する。 本庁舎の空調設備の一部である冷却塔が老朽化しているため更新工事に向けた設計を行う。 その他施設の適正な維持に必要な修繕及び工事を行う。 (仮称) 市役所庁舎個別施設計画を策定する。 							
		当該年度活動結果指標	庁舎施設等の保守管理の執行率	単位	%	想定値	100	実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	庁舎施設等の保守管理			間接	保守管理の執行率		%	0	100				
令和3年度	庁舎施設等の保守管理			間接	保守管理の執行率		%		100				
令和4年度	庁舎施設等の保守管理			間接	保守管理の執行率		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	現庁舎において、市民サービスの向上及び行政機能を向上させるための庁舎のあり方を検討する必要がある。老朽化した施設及び設備機器等を計画的に修繕を行い長寿命化を図っていく必要がある。			代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			庁舎維持管理業務	145,958		庁舎維持管理業務	108,369		庁舎維持管理業務	107,302		庁舎維持管理業務	107,302
			バルクリースリース料【債務負担】(H31.2~H41.1 H31年度分)	30,316		庁舎総合管理業務委託【債務負担】(H29.4~R4.3 4年目)	39,600		庁舎総合管理業務委託【債務負担】(H29.4~R4.3 5年目)	39,600		庁舎総合管理業務委託【債務負担】(R4.4~R9.3 1年目)	39,600
			* 吸収冷温水機総合修繕 * 東別館受変電設備等撤去工事 * 東別館耐用年数調査業務委託	11,501 7,458 1,631		* 非常用発電機バッテリー交換修繕 * (起債)本庁舎冷却塔更新設計	1,837 1,067		* (起債)議事堂空調更新設計 * (起債)第一委員会室空調更新工事 * 議会棟脇駐輪場修繕 * (起債)本庁舎・議会棟屋上防水修繕 * (起債)本庁舎冷却塔更新工事 * (起債)本庁舎深井戸ポンプ交換工事 * (起債)行政情報資料室空調更新工事 * (起債)西別館受変電設備等更新工事 * (起債)西別館屋上防水他改修設計	1,760 2,244 3,912 12,970 21,615 8,800 1,540 16,826 1,862		* (起債)議事堂空調更新工事 * (起債)西別館屋上防水他改修工事 * 本庁舎B1F・2F照明更新工事 * (起債)本庁舎市民生活館空調更新工事	35,596 18,611 16,731 2,970
	予算(決算)額	合計	196,864	合計	181,187	合計	248,745	合計	251,124				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	75%	800	充当率	75%	42,800			
	一般財源		186,864		179,387		198,045		208,324				
	その他の財源	□特会 □受益 ■基金 □その他	10,000	□特会 □受益 ■基金 □その他	1,000	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)		1		1.1		1.1		1.1				
	正職員人件費		8,800		9,570		9,570		9,570				
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
	臨時職員賃金額		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		205,664		190,757		258,315		260,694					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		2,056.64千円/％		1,907.57千円/％									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価		事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))		改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	・来庁者の安全性と快適性及び職員の良好な執務環境を確保するため、庁舎の適切な維持管理を行う必要がある。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 	<その他の内容>	<ul style="list-style-type: none"> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 	<市実施の具体的な内容・必要性の理由>
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 	市民ボランティア活動の一環として、庁舎周辺の樹木剪定(低木)や草刈りを行っている	<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 	<期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点		実施した具体的な内容		環境への配慮
	環境に配慮して事業を進めているか？	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・あびこエコプロジェクトの積極的な推進 ・グリーン購入法に基づく備品・消耗品類の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった 	<想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況
	0	100	<ul style="list-style-type: none"> ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である 		<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値達成 ○②目標値未達成
					<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 	事業費の削減対策について
	190,757	14,907	<削減の内容>	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c) × 100
		事業費削減率(%)			<超過理由等>
		7.25			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況
	0.05		単位	費用単位	<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下
			%	10万円	<ul style="list-style-type: none"> ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------